

事業活動報告書

(2012年度版)

ICTで地域は変わる

特定非営利活動法人コミュニティリンク



目次

1. 事業の推移
2. 現状と課題
3. 報告事項
4. 事業活動報告
5. 社員研修
6. 近況報告



【事業全体】

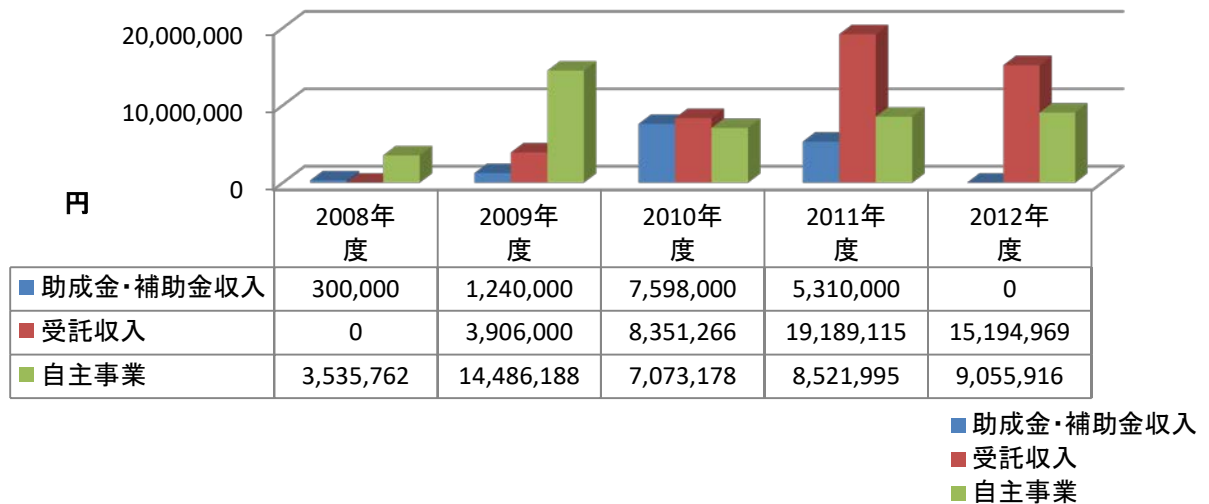
年度	収入	支出	収支
2008	3,857,749	3,623,168	234,581
2009	20,225,110	20,155,369	69,741
2010	23,111,287	23,131,092	-19,805
2011	33,205,138	32,395,081	810,057
2012	25,270,902	25,858,971	-588,069

【事業収入と事業支出の推移】

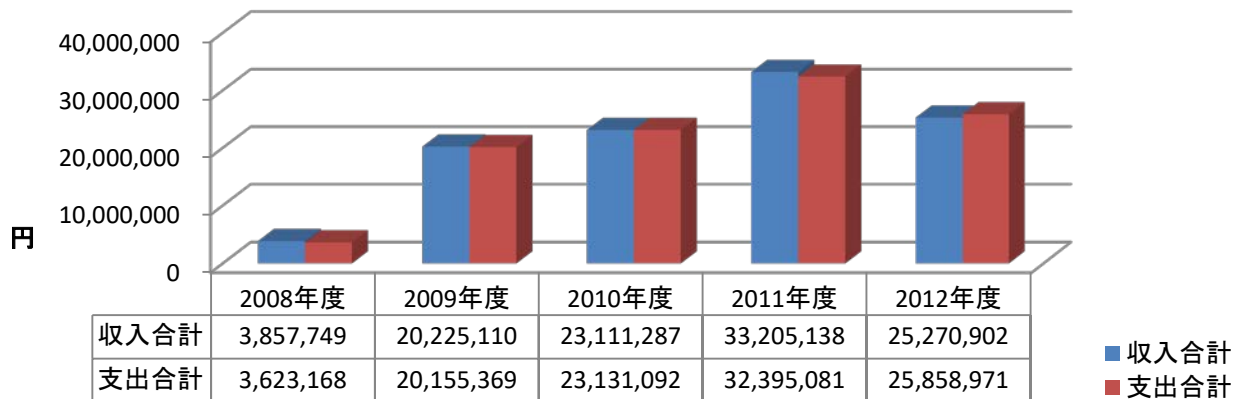
年度	事業収入	事業支出	収支
2008	3,835,762	3,463,777	371,985
2009	19,661,288	19,741,847	-80,559
2010	23,061,287	22,981,375	79,912
2011	33,155,138	32,143,899	1,011,239
2012	25,205,902	25,138,119	67,783

※収入には、会費、寄付金は含まれない。

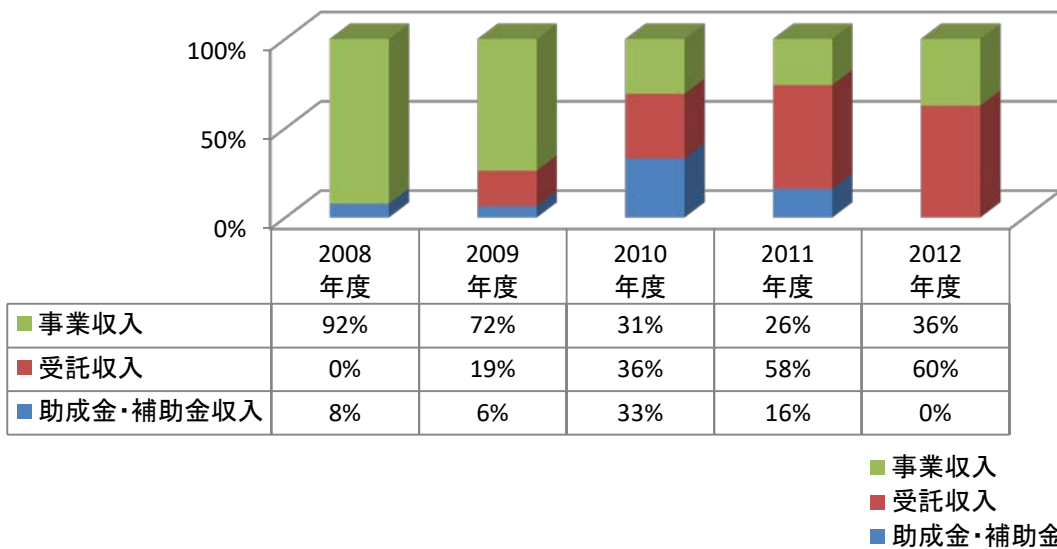
年度別収入内訳



収入・支出合計 推移表



年度別収入内訳(比率)



現状と課題

【現状】

- ・事業規模は昨年よりも減少したが、補助金事業が無くなり受託事業と自主事業が成長した。
- ・宝塚市広報番組制作業務は、「競争入札」の中で落札をすることができたが、前年度の実績やNPOとしてのメリットを発揮できない制度であり、不安定要素が強い。

【課題】

- ・管理部門（非収益部門）の支出を補てんする非収益事業収入や会費、寄付金収入が少ないため、法人全体の財務状況を悪化させている。
 - ⇒ 会員拡大、寄付収入の増加、非収益部門（自主開催の講座等）の収入を増加させる手法を考えなければならない。
- ・来年度の役員改選に向けて

History

<2008月>

- 8月 ・特定非営利活動法人コミュニティリンク 認証・登記
- 9月 ・宝塚市協働のまちづくり公募補助金採択

<2009年>

- 4月 ・宝塚市市民協働推進課委託事業 平成21年度地域情報整備事業受託

<2010年>

- 1月 ・H21年度総務省委託事業オンライン申請サポート事業
オンライン申請サポート講習会を実施する全国のNPO法人の取りまとめ事務局
及びオンライン申請サポート事業実施団体としてNTT東日本と契約を締結
- 4月 ・独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業に採択
・宝塚市市民協働推進課委託事業 平成22年度地域情報整備事業受託
- 7月 ・平成22年度宝塚市協働のまちづくり公募補助金（行政提案型） 採択
- 12月 ・兵庫県委託事業（平成22年重点分野雇用創造事業）
ICTを活用した地域再生支援事業に採択

<2011年>

- 1月 ・兵庫県情報政策課委託事業 地域協働によるデジタルサイネージ等運営事業受託
- 4月 ・宝塚市市民協働推進課委託事業 平成23年度地域情報整備事業受託
・宝塚市広報番組制作業務受託（平成23年度）
・兵庫県委託事業（平成23年重点分野雇用創造事業）
ICTを活用した地域再生支援事業に採択
- 6月 ・兵庫ニューメディア推進協議会より、兵庫県地域情報化功労賞を受賞。
- 9月 ・平成23年度 NPO等イメージアップ作戦事業（寄附募集支援事業）
（新しい公共支援事業交付金）に採択

<2012年>

- 4月 ・宝塚市広報番組制作業務受託（平成24年度）
・ひょうごチャンネルシステム保守運用業務委託契約
・インターネットを活用した県政情報等発信事業
（あいたい兵庫キャンペーン見どころ紹介分野、地域の資源・魅力紹介分野）
・平成24年度 NPO等イメージアップ作戦事業（寄附募集支援事業）
（新しい公共支援事業交付金）に採択

1. トライやる・ウィークで中学生2人を受け入れました。

宝塚第一中学校から男の子2人を受け入れ。

宝塚市広報番組制作業務のレポーターやカメラマン、編集作業を5日間体験してもらいました。



報告事項

2. 宝塚市広報番組制作業務で企画した番組が毎日新聞に取り上げられました。

身体障害者補助犬法施行10周年を迎えるにあたって「シンシアのまち宝塚」
として伝えるべき番組を協働により制作。

その制作過程を毎日新聞に取材していただきました。



3. 被災者支援

兵庫県のインターネットを活用した県政情報等発信業務(緊急雇用事業)で宮城県気仙沼市から被災者を1人契約社員として雇用しました。その後、当法人で得た経験もあって、別会社に正社員として就職されることとなり、わずかではあるが被災者支援の一翼を担うことができました。

(右図)
ひょうごの福祉
平成24年6月号

NPO法人コミュニティリンク

共に働くことで支援につなげたい

コミュニティリンクでは、ICT(Information and Communication Technology)を活用した情報発信や、まちづくりに役立つ情報基盤整備に取り組んでいます。最近では、インターネットを活用した通信での動画が気軽に楽しめるようになったため、映像の作成・配信や、ライブでのインターネット中継などのご支援が増えてきております。東日本大震災でもICTを活用した多くの先進的事例が生まれました。地域の情報発信をICTが担える基盤はすでにそろっており、あとは、活用者が各地域で育っていくことが重要だと考えております。

そんな中、我々も被災地の方々の力になれるようなことが無いかと考え、宮城県気仙沼市に幾度か訪問させていただきました。1年以上が経過した今も、まだまだ課題が山積しており、情報発信力の不足を感じます。

そこで、支援の取り組みとして気仙沼市の被災者の方を雇用し、コミュニティリンクの情報発信の仕事を共に体験していただくことで、ノウハウやNPO活動を学習して帰ってもらいます。多くの時間を共有し、信頼関係を築き、息の長い支援を続けたいと思います。

(NPO法人コミュニティリンク 榎原 貴倫)

事業活動報告：地域メディアの取り組み

●平成24年度宝塚市広報番組制作業務

この業務を活用してトライやるウィーク受け入れ、中学校の夏休みの様子を伝える夏休み特別番組、身体障害者補助犬法施行10周年の特別企画など、広報課との協働により様々な視点から、宝塚市の魅力を届ける番組作りに取り組むことができました。



●デジタルサイネージの活用

宝塚市広報番組や他市のイベント情報などをデジタルサイネージに放映。

（阪急オアシス宝塚山手台店、東公民館、西公民館、アピア逆瀬川）



デジタルサイネージおよび自主運営のWEBサイト「たからづかメディアログ」に、宝塚市広報番組制作業務で制作した映像の配信許可をいただき、さまざま媒体で動画配信を進めてきました。



事業活動報告：地域メディアの取り組み

今までのインターネット中継や映像制作の経験や活動を認めて頂き、イベント時の映像演出、まちづくり協議会のソーシャルメディア活用、など、新たなお仕事が生まれました。



宝塚ライオンズクラブ50周年記念式典のオープニング映像制作とインターネット中継を担当



まちづくり協議会などへFacebookやtwitterの使い方をアドバイス



兵庫県が運営する動画ポータルサイト「ひょうごチャンネル」の運用保守業務を受託。アクセス解析や集計作業などを担当し、兵庫県の情報発信における現状や方向性について提案を行っている。

また、このような動画をまとめるWEBサイト(動画ポータルサイト)のシステム開発も行い、他府県への展開も今後の視野に入れていきます。

●インターネットを活用した県政情報等発信業務

年間48本の動画制作を通して、取材ノウハウや映像制作技術の習得はもちろんのこと、取材先との人脈構築、各地域のまちづくりや地域活性化の取り組みを知ることができ、次年度に繋げられる大きな成果を得られました。

動画制作方針についても、担当課と協働制作で進められており、依頼ニーズに応える形で信頼と実績を積み重ねてこれたと感じています。

・あいたい兵庫キャンペーン



・地域の資源・魅力紹介



●新しい公共支援事業(2年目)

宝塚・川西・三田・神戸・加古川の中間支援組織を中心に「ひょうごコミュニティ財団」の設立に向けて、2年間頑張ってきました。

システム担当ではありながら、財団設立に関する打ち合わせ等に継続的に参加することにより、NPO業界における寄付の現状や最新事例など、さまざまな知識を習得することができました。

特にオンライン寄付に関するノウハウは、他のNPOへの普及や導入支援に役立てられると感じています。



定期的な打ち合わせの様子



設立応援フォーラムの様子



設立応援フォーラムの様子



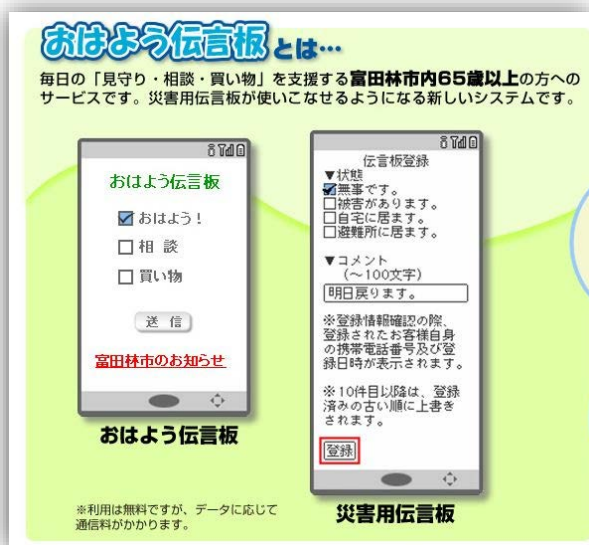
●シニア丸得ネットプロジェクト

大阪府のNPO法人きんきうえぶが受託した新しい公共支援事業)

65歳以上のシニアを対象とし、携帯電話のEメールサービスを使った365日シニア見守り事業で、当法人はプロジェクトの協議体の1団体として参画し、携帯メール配信システムを構築し運用管理を担いました。今年度で2年目となりました。

利用者や関係団体・企業の参画が増えるとともに、NHKの「団塊スタイル」にも取り上げられるなど、マスコミや他市からも注目をしてもらうことができました。

今後は、例えば民間企業との連携でケータリングを組みわせる展開など、地域福祉の課題を解決していける可能性のある事業だと認識しています。新しい公共支援事業は今年度で終了となりますが、当法人としても継続してNPO法人きんきうえぶと連携し、地域課題を解決できる事業になるよう提案し事業を展開していきたいと考えています。



NPO・市民活動団体の情報発信支援

●スキルアップ・啓蒙活動

地域コミュニティで活動してる人や、団体のWEB制作・更新担当などを対象に、Wordpressを使ったWEB制作や更新方法などを含めた情報発信の啓蒙活動を実施しました。

西宮(月2回)、箕面(月2回)、富田林(月1回)のペースで実施

※WordPressとは
ブログのようなデータを蓄積するWEBサイトを持ちたいときに
比較的に費用が安く、短期間で開発ができるシステムです。

開催時の様子



NPO・市民活動団体の情報発信支援

以下は、その他の制作実績です。



共感寄付



認定NPO法人
市民活動センター神戸



西宮のボランティア応援サイト
ぎずなび



みのお山なみネット



Kifu KOBE

社員研修など

WEBスキルやビデオ撮影、編集スキル向上を目指した研修会を定期的を実施。

協力会社さんの来社の際には、ざっくばらんに情報共有ができるような環境づくりなど、新入社員にもさまざまな情報による刺激を与えるよう配慮しています。



宝塚の市民団体とのかかわり

●宝塚音楽回廊 実行委員会に参加

ホームページやFacebookの更新担当や撮影担当として参加。

今年、2月には仙台、石巻、女川、南三陸に訪問してコンサートを行う被災地応援ツアーに同行。



- 昨年度、緊急雇用事業で雇用をしていた 高添隆太郎 ですが、今年度は 正規社員として雇用をしました。正会員にも加入してくれました。主には、兵庫県委託業務の管理者として、今年度新たに緊急雇用で雇っている新規社員をまとめて事業を進めてくれています。また、事務所環境の整備なども、積極的に進めてくれています。



- 宝塚市広報番組制作業務委託は、入札の結果、落札することができませんでした。

落札したFM宝塚は、昨年度に当団体が落札した価格よりもさらに下回って入札をされたので、完全な価格競争になってしまいました。

昨年度の価格よりも価格を上げて入札をした理由としては、イベント撮影型の広報番組ではなく、トライやるウィーク受け入れやテーマ性を持った番組づくりにチャレンジしたいと思い、その部分の価格を見積りに組みこみました。

映像からまちづくりの本丸へ

1

市民活動団体・NPOの情報発信支援



2

Youtubeなどのインターネットメディアの台頭
宝塚市とのつながり(当時:まちづくり推進課)

地域活動を映像を通して発信(目新しい取り組み)
映像とインターネット生中継の組み合わせ



3

目新しさ、他のNPOには無い動き

宝塚市地域情報整備事業
(宝塚市内を取材し映像にまとめ、「たからづかメディアログ」を通じて
まち・人・物の魅力を発信)

4

地域との密着度＝信頼
協働による映像制作・企画

宝塚市での活動実績を
認められる

宝塚市広報番組制作業務受託

兵庫県のインターネット動画制作業務受託

5

兵庫県のネット動画制作業務の
実績
培ってきた多様な地域ネットワーク

地域とのネットワーク
WEB・紙面を合わせた情報発信
の可能性に期待

地域再生大作戦PR推進事業
(兵庫県委託事業)

北摂里山博物館PRツール作成業務
(阪神北県民局委託事業)



失注

兵庫県全域を対象として
人口減少が目立つ多自然地域で
頑張る人、地域を取材
⇒人脈、地域活性化ノウハウ

里山の保全活動、里山を活用した
地域活性化の取材
⇒人脈、地域活性化ノウハウ

今年度の課題とNEXT STEP

映像制作を通じ、培った人脈、そこで知ったまちづくりを体系化し、
提案スタイル、事業スタイルを確立させる。